

「行徳野鳥観察舎の再開と存続を求める」署名

千葉県知事 森田 健作 様

私たちは、千葉県行徳野鳥観察舎が再開し、自然を守る拠点として末永く利用できることを心から願っております。

千葉県行徳野鳥観察舎は、1976年(昭和51年)1月、プレハブ2階建ての旧館からスタート。

数万羽ものスズガモの大群が見られたこともあり、予想以上の人気を集めました。

学校の1クラス全員が望遠鏡で鳥を見ることができる現在の観察舎建屋が、1979年(昭和54年)12月オープン。以来36年間にわたり、数多くの方々に愛されてきました。

造成された行徳保護区は、40年の歳月を経て、東京湾でも貴重な泥干潟が海と陸をつなぐ自然環境となりました。この環境を守り育ててゆくことは、私たちの願い、そして責務です。

千葉県内の環境学習施設の多くは行政改革の見直し対象とされ、行徳野鳥観察舎は耐震診断の結果、震度6強の地震では倒壊しないまでも崩落の危険があるとの判断で、2015年(平成27年)12月28日から無期限の休館となりました。

私たちは、行徳野鳥観察舎、そこに集う鳥たち、そこに集う人たちが大好きです。

1日も早い復活と、将来にわたる存続を強く希望します。

氏 名	住 所

- ・本署名でいただいた個人情報は行徳野鳥観察舎を愛する者一同で厳重に管理し、この署名目的以外では使用しません。
- ・誤送信を防ぐためFAXではなく郵送をお願いいたします。
- その際は誠に申し訳ございませんが送料のご負担をお願いいたします。

呼びかけ団体・署名管理： 行徳野鳥観察舎を愛する者一同

賛同団体： 日本野鳥の会東京ほか

集約日： 毎偶数月の末日 ※要望実現まで継続して実施します。

【送り先】 行徳野鳥観察舎を愛する者一同 代表 三木 信行 蓮尾 純子

〒272-0137 千葉県市川市福栄4-26-1 Tel 090-1558-2580

eメール akirax.1209nm@docomo.ne.jp

皆様へ

野鳥を大事に思うことから署名のご協力をお願いするメールです。

昨年12月27日で千葉県市川市にある「行徳野鳥観察舎」が閉館、使用禁止となりました。

その17日前の12月10日に耐震性の調査に来て、問題があると診断され、そのたった17

日後に永久閉館となってしまいました。

この野鳥観察舎は市民が広く野鳥を観察できるように沢山の望遠鏡が設備され、いろいろ資料が展示されていました。

37年間も内外の多くの市民が利用してきた観察舎ですが、今回の調査後、耐震性の補強あるいは建替えの費用、約一億円を千葉県は出せないで閉館という選択肢をとりました。

ここでは怪我をした野鳥を保護し、快復後放鳥しています。このような怪我した野鳥を保護する施設は東京都にないので行徳野鳥観察舎を管理されている皆さんにお世話になっています。

私達の友人がこの行徳野鳥観察舎でライフワークの野鳥観察と保護の作業を続けています。私も何度か友人がリーダーのここの野鳥観察案内に参加したことがあります。行徳野鳥観察舎の前には東京湾にやってくる野鳥が沢山見られ、市川市民だけでなく関東近縁の野鳥愛好家が沢山観察にきています。

何とかこの野鳥観察舎が使えるようになって欲しいものです。千葉県知事の森田健作氏宛ての施設存続を求める署名を集めていますので是非ご協力ください。署名用紙を添付します。

お手数ですが、署名後、ご近所の方は我が家の郵便ポストにあるいは署名用紙に記載されているところに郵送お願いします。

～***～***～***～***～***～***～***～***～***～***～

池田 正子

〒112-0011 東京都文京区千石2-10-11